

第28回測量調査技術発表会

安全・安心 マップづくりワークショップ

2006年7月7日、パシフィコ横浜での全国測量技術大会2006において、測技協 第28回測量調査技術発表会（以下技術発表会）が開催され、述べ515人にご来場いただきました。

28回目を迎えた本回では、13編の技術発表に加え、測技協GIS部会主催による、『GISを活かした安全・安心マップづくり』ワークショップを行いました。

技術発表会には毎回、関係団体をはじめ多数の皆様にご来場いただいておりますが、例年の技術発表に加え、今回より次の新しい取り組みを行い、例年の来場者数をうわまわる盛況となりました。

測技協はこれからも、標準化、新技術開発等の活動成果をもとに、成立が予定される「地理空間情報活用推進基本法案」が測量調査業界に新たな展開をもたらすことができるよう、積極的なアシスト役として様々な普及活動に注力していきます。

28回測量調査技術発表会 プログラム

発表タイトル	発表者
インテリジェント基準点の利活用（未来型測量システム）	波田太至（㈱日豊）
人工改変地DBと宅地ハザードマップへの活用	安田岩夫（㈱八州）
地形判読を支援するELSAMAPの開発	佐々木寿（国際航業㈱）
LIDARによる三次元地形データ計測と品質管理	石田修司（㈱パスコ）
航空レーザ計測を用いた山腹工整備への応用	岡崎克俊（アジア航測㈱）
航空機搭載合成開口レーダー（Pi-SAR）の多周波/多偏波データを利用した地物判読	野中崇志（㈱パスコ）
デジタル空中写真測量の普及に向けて	横山 巖（大成ジオテック㈱）
空中移動体（航空機）による地図生成とポジショニング	大鋸朋生（アジア航測㈱）
GPS水準測量による台湾新幹線C270工区における地盤沈下の検出	小山裕佑（㈱日豊）
IGS点を利用した石岡トンネル（第2工区）トンネル工事測量の結果	相京幸一（㈱日豊）
NP型TSを用いた河川構造物形状調査と精度評価	大西俊次（玉野総合コンサルタント㈱）
フィールドにおけるGISの利活用	加藤 哲（国際航業㈱）
情報公開用WebGISの開発にみる要件と課題	八木俊之（㈱パスコ）

安全・安心マップづくりワークショップ

発表タイトル	発表者
地域における「安全・安心」マップづくり ～緑園都市、横浜市泉区での犯罪マップの作成から～	太田 弘（慶応義塾普通部教諭）
「地域安全マップ」作成における簡易GISソフトの活用と有効性（三鷹市の例）	菊地 勇（東京カートグラフィック㈱）
教育分野におけるWebGISの利用 - 「群馬プロジェクト」における地域安全学習の実践 -	中野 崇（国際航業㈱）
ASP方式によるWebGISの利用 - 地域の安心・安全情報の提供事例 -	樋口 学（㈱パスコ）

28回目ではじめて実施

優秀発表者表彰

技術発表会は測技協の技術分野である、国土管理・コンサル、空中計測・マッピング、位置情報・応用計測、GISの4つのテーマで会員企業の皆様から技術発表を募り、各社の技術発表を通して多くの皆様に測量計測技術への感心を高めていただくとともに、若い社



員の皆様にもプレゼンテーションの経験を積んでいただける機会として毎年開催しているものです。

今回から新たに、発表内容に加え、プレゼンテーションパフォーマンスの優れている技術発表について、技術委員会メンバーによる審査にもとづき、「優秀発表賞」の表彰を行いました。

初めての試みということで、準備や集計段階で多少手間取った点もありますが、適度な緊張感を伴った盛大な技術発表会となりました。

今後も運営、審査内容等について皆様のご意見を取り入れ、引き続き実施していく予定です。

業界関係者以外にも身近な話題を

安全・安心マップづくりワークショップ

現在の社会において私たち測量調査業界がなすべきこと、あるいは社会に提案できることはなにか？測量調査業界が今後の技術開発のヒントを得るという観点から、『GISをツールとした「安全・安心マップ」づくりワークショップ』を開催しました。

測量調査業界の主流分野であるGISを用いたマップづくりは、これまで多くの場面で作られてきた手書きの地図ではかなわなかった情報の拡大、集約、共有など、多くの可能性が期待され、GISの提供側である測量調査業界においても関心あるテーマのひとつです。

そこで、GISを地理だけでなく、多方面の教育現場で教科学習を進める上での1ツールとして多くの可能性をもつものとしてその利用を実践しておられる、慶應義塾普通部、太田弘教諭に横浜市の事例を挙げて講演いただき、あわせてGISツールを提供する側からの事例紹介を行いました。

事前にマスコミ各社、教育関係者等にインフォメーションを行った成果もあり、業界関



係者他の多くの方々のご参加と活発な議論を頂きました。

来場者多数のため、準備した資料が不足するなどのうれしい経験も活かし、次回に向け時代にマッチした企画を検討しています。

JPGIS専門の研究員が常駐

技術展示ブース

全国測量技術大会2006開催中の3日間、同時開催された測量・設計システム展の会場で、測技協は協会活動や地理情報標準(JPGIS)、航空レーザ計測などの先端技術を紹介するパネル展示と出版技術図書の紹介を行い、測技協GISセンター研究員が質問者にわかりやすく解説をいたしました。

測技協活動への理解を深めていただき、新技術や標準化の動向を知っていただくため、今後も最新の情報を提供していきます。

